

- ①学 年 : 全学年
 ②形 態 : 教科活動…E S Dに関連した学習
 総合的な学習の時間…ヒートアイランド現象調査
 特別活動…ユネスコスクール講演会
 環境リーダー養成研修
 環境委員会・環境リーダーの活動
 地域との連携活動

③活動内容（外部団体との連携などを含む）

時期	内 容	対 象
4月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
5月	節電・節水活動 ユネスコスクール講演会	全校生徒・教職員 全校生徒・教職員
6月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
7月	節電・節水活動 中庭整備活動 ヒートアイランド現象調査 (地元企業とも連携)	全校生徒・教職員 環境委員・環境リーダー・希望生徒 全校生徒・教職員
8月	環境リーダー養成研修 (環境保護団体とも連携)	希望生徒
9月	環境リーダー養成研修報告 文化祭での発表 CO2CO2削減コンテスト参加 節電・節水活動	研修参加生徒 全校生徒・教職員 全校生徒・教職員 希望生徒
10月	節電・節水活動 CO2CO2削減コンテスト参加 中庭整備活動	全校生徒・教職員 全校生徒・教職員 環境委員・環境リーダー・希望生徒
11月	節電・節水活動 CO2CO2削減コンテスト参加 環境省四国環境パートナーシップオフィ ス主催の研修会への参加と発表 地域一斉清掃参加(地域との連携)	全校生徒・教職員 全校生徒・教職員 教職員 希望生徒
12月	節電・節水活動 ユネスコスクール地域交流会 in 広島 への参加と発表	全校生徒・教職員 教職員
1月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
2月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
3月	節電・節水活動 中庭整備活動 地域一斉清掃参加(地域との連携)	全校生徒・教職員 環境委員・環境リーダー・希望生徒 希望生徒

* 環境委員会(随時:環境リーダー・環境委員)

* 環境だよりの発行(随時)/見える化グラフの作成(毎日)/校内放送(定期)

* HRでの清掃活動(随時:HR単位)

* HPで公表(随時)

* 地域と連携した各種ボランティア活動(随時)

④各活動の概要

○ヒートアイランド現象調査（意識を高める）

全校生徒・教職員による「ヒートアイランド現象調査」は、生徒は自宅で教職員は測定が不十分な地点で、同日、同時刻に一斉に気温を測定、それらを地図上に落とし、自分たちが住んでいる地域で、ヒートアイランド現象が見られるかを調査する参加型の調査である。調査にあたっては地元企業と連携している。本調査にあたっては、事前に器差補正や予備調査を行い、可能な限り正確なデータが取れるようにしている。得られたデータは解説をつけて、ホームページや文化祭等で発表している。ESDにおける環境教育では生徒の主体的参加とそれを通じた行動変容が求められている。そのため、本調査は環境問題に対する意識を高め、いくことを目的とし、調査の結果よりも過程を重視して行っている。

○環境リーダー養成研修（生徒主体の活動へ）

生徒主体の取り組みを実現するため「環境リーダー養成研修」を実施している。国立大洲青少年交流の家を会場にして学校ではできない体験活動を中心とした学習を行っている。地元で環境保護活動を行っているNGO団体と連携して自然観察を行ったり、カヌー活動（肱川観察）などを行ったりしている。各活動の後には「ふりかえり」をきちんと行うことで体験からの学びの定着を図っている。また体験活動をもとにした「私たち高校生にできること」を中心としたワークショップも行っている。本研修は、1泊2日の日程で行っているため、参加生徒のヨコのつながりもでき、その後の生徒主体の活動につながっている。

○節電・節水活動／中庭整備活動（意識から行動へ）

研修に参加した環境リーダーや環境委員を中心に、「さくらい環境宣言」を発し、校内放送や環境だよりの発行、見える化グラフの作成などを通して全校生徒・教職員による節電・節水活動に取り組んでいる。環境リーダーたちを中心に話し合った結果、自分たちにできることは生徒たちに呼びかけてどんどん実践していこうということになり、水の出し方に気をつけたり、移動教室の際の消灯を確実にしたりするなど具体的に行っていた。例年参加しているCO2削減コンテスト（香川県地球温暖化防止活動推進センター主催）参加期間（平成25年9～11月）には、電気・水道使用量とも減となり、効果が見られ、優秀賞をいただいた。また、「中庭環境整備活動（池清掃活動や花時計整備活動）」などにも生徒たちが自主的に取り組んでいる。「中庭環境整備活動」も参加者が少しずつ増加している。意識から行動へとつなげていきたい。

○地域と連携した活動（学校から家庭・地域へ）

環境問題に対する取り組みを学校の中だけに終わらせず、家庭・地域へと広げるため、生徒たちが地域で活動できる機会を設けている。EM泥だんごを使ったため池浄化作戦への参加（都合により今年度は不参加）や地域一斉清掃への参加などである。環境活動に関する地域との連携に加え、ESDで

必要とされる「自ら主体的に学び、考え、行動する」生徒の育成、また、「共に生きること」を学ぶという観点からも、地域のコミュニティーセンターや保育所、小学校、高齢者福祉施設等と連携したボランティア活動も行っている。「開かれた学校」作りが言われて久しいが、地域に開かれた学校という視点に加え、学校から家庭・地域への情報発信という視点も必要ではないかと考えている。今後、さらに推進していきたい活動の一つである。

○各研修への参加

今年度は、校内で、ユネスコスクール大学間支援ネットワーク (ASPUnivNet) 加盟大学である鳴門教育大学の近森憲助先生に來校していただき、ユネスコ活動やESDのことについて講演をしていただいた。また、「環境省四国環境パートナーシップオフィス主催の研修会」(平成25年11月27日(水))や「ユネスコスクール地域交流会 in 広島」(平成25年12月7日(土))に参加した。

○普及活動

「ヒートアイランド現象調査」については、本校HPに調査の目的・内容・方法・結果等について掲載するとともに、地域の方々が來られる文化祭で発表している。「環境リーダー養成研修」についても同様である。その他の活動についても可能な限りHPに掲載している。また、一昨年度の「ユネスコスクール研修会」(文部科学省・日本ユネスコ国内委員会・日本ユネスコ協会連盟主催)、昨年度の「国際教育オープンフォーラム」(鳴門教育大学主催)に続き、今年度は、「環境教育に関する研修会」(環境省四国環境パートナーシップオフィス主催)や「ユネスコスクール地域交流会 in 広島」(文部科学省・ユネスコ・アジア文化センター主催)で取り組みを発表させていただいた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()